

# 結城一高生が看護師体験

結城一高の2年生、金敷菜津弥さん、神川菜々海さん、椎名舞さんの3人が10月7日から9日の3日間、城西病院で看護師の体験をしました。3人は、初日に病院の手術室や検査室、病棟、透析センターなどを見学。回復リハビリ病棟と療養病棟で看護体験を行い、看護師の仕事の一端に触れました。

看護体験は、聴診器や血圧計など医療機器の扱い方を体験。車いすに乗ったり、患者さんの足をさすったり、食事介助や患者さんの話し相手になったりして、看護師の仕事の一部を経験しました。体験を終え、神川さんは「城西病院での体験は夏に続いて2度目。今度はいろんな経験ができ、看護師になるためがんばりたいと思いました」、金敷さんも「ふだん見れないところを見れてよかった。いっぱい覚えることもあって大変だけど、104歳の人とお話できてよかった」、椎名さんは「母が看護師をしています。カウンセラーや看護師が気になる仕事で、実際に体験し、少しは母の仕事のことも分かりました」と話していました。

平成27年10月9日



聴診器を使って心臓の音を聞く生徒たち



100歳を超えた入院患者さんと話す学生たち



食事介助を体験する生徒



MRIの機械を見学する生徒たち